

低開発の記憶ーメモリアスー（1968）

MEMORIAS DEL SUBDESARROLLO
MEMORIES OF UNDERDEVELOPMENT
INCONSOLABLE MEMORIES

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 キューバ
色彩 B&W
時間 97分
初公開日 2007/05/26
公開情報 Action Inc.

【キャッチコピー】
革命からキューバ危機へ

【解説】
「莓とチョコレート」のキューバ人監督トマス・グティエレス・アレアが1968年に撮り上げたキューバ映画を代表する名作の1本で、2007年に日本初公開が実現。革命直後の61年からキューバ危機に揺れる62年にかけてのハバナを舞台に、時代の大きなうねりの中に生きる人々の姿を描き出す。1961年、ハバナ。カストロが社会主義を宣言したことで、資産家の多くが次々とアメリカに亡命する中、妻や両親とも別れ、ひとりハバナに残るブルジョア階級のセルヒオ。ヨーロッパを基準に、キューバの国と人々を“低開発”と見なす彼は、街と人々の様子を傍観者のように観察し始めるが…。

【クレジット】

監督	トマス・グティエレス・アレア	Tomas Gutierrez Alea	
原作	エドムンド・デスノエス	Edmundo Desnoes	『いやし難い記憶』 (筑摩書房)
脚本	トマス・グティエレス・アレア エドムンド・デスノエス	Tomas Gutierrez Alea Edmundo Desnoes	
出演	セルヒオ・コリエッリ デイジー・グラナドス エスリンダ・ヌニェス オマール・バルデス	Sergio Corrieri Daisy Granados Eslinda Nunez Omar Valdes	セルヒオ・カモーナ・ メンドーヨ エレーナ